

文化芸術・スポーツをまちづくりの柱に 市制60周年が新たな出発点

本市は、令和8年11月1日に市制施行60周年という大きな節目を迎えます。物価高騰など市民生活を取り巻く環境が厳しさを増す中であっても、市民生活をしっかりと支え、誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めます。その上で、これまでの歩み（先人への感謝と敬意）を大切にしながら、日常に「文化芸術・スポーツ」が根付き、市民一人ひとりが心豊かに暮らせるまちづくりをめざし、次の時代へ向けた新たな一歩を踏み出します。

問合せ先 地域創生課 ☎(275) 6082



感動が、人を動かし、まちを変える。 デジタル時代だからこそ、リアルな感動を。

市制60周年、なぜ「文化芸術・スポーツ」に力を入れるのか。

デジタル化が進む今だからこそ、人と人が集まり、共に心を動かす「生の体験」が、私たちの健康で文化的な生活を支え、その価値はますます高まると信じています。

高石には、世界に誇る才能や熱気あるだんじり文化、そして誰もが主役になれる身近な活動拠点があります。

舞台や試合に胸を躍らせてたり、活動のために外へ踏み出す日常。その営みが、まちを元気にし、私たち一人ひとりの健やかな毎日をつくります。デジタルの力も活かしながら、文化芸術・スポーツをまちの鼓動として育て、「積み重ねてきた歴史」と「挑戦から生まれる新たな活力」を高石の魅力として発信してまいります。



高石市長
畑中政昭

市制60周年を彩る主な事業

高石市民の芸術祭～Takaishi Civic Art Festival～開催

文化芸術・スポーツをテーマに、60年の歩みで培われた地域資源や価値を大切にしながら、**新たな価値を創出する市民参加型のイベントを開催**。高石市の「これからの10年」につながる創造性を採り入れた未来を感じられるプログラムを展開します。

(11月1日開催予定。)



万博レガシーの継承 給水スタンドを市立小中学校に設置

大阪・関西万博でも共創した、市出身アーティストのヨシ・シスレー氏と文化芸術振興の観点から、継続的な連携をします。また、万博会場で使用された**給水スタンド**を、市立小・中学校全校に設置します。



府内最年少の名誉市民 浜野まいか選手

本市出身で女子サッカー日本代表として AFC 女子アジアカップオーストラリア 2026 決勝では決勝点を挙げ優勝にも貢献、アジア女子年間国際最優秀選手賞などにも選ばれ国際舞台で活躍されています。



kencom による 健康チャレンジ60

kencom を活用し、60日間で60万kmをみんなで協力して踏破するチャレンジイベントや記念事業にポイントを付与することで、健康づくりの習慣化を図ります。



こどもの 安全見まもり隊への 特別表彰

長年、**地域の子どもたちの安全確保**に尽力されているこどもの安全見まもり隊の皆様へ、深い感謝の意を表し、特別表彰を授与させていただきます。



60周年記念 高校連携事業

高校生の参画により地域コミュニティを醸成し、地域の担い手確保の増加につなげます。記念事業の**企画・準備段階から実施まで**を行い「実践的な社会体験」を実施いただきます。



子どもたちで 市制60周年を祝おう

高石の未来をテーマに、子どもたちが絵を描き、文化祭期間中に優秀な作品を展示します。また、市立中学校運動場で、生徒が人文字をつくり、ドローンで動画を撮って式典会場で放映します。



台湾高雄市鼓山区との 友好都市提携に向けて

進展する国際化に順応していくため、海外との連携をより強化し、**国際的な視野を広げていく**まちづくりを推進し、近隣アジア地域にも目を向け交流を開始します。



※令和8年度の施政方針の内容は5月号広報紙で掲載いたしますので、乞うご期待ください。